

第5回徳島県民文化祭主催行事

徳

島

第56回

会期

第1期／写 真 平成13年11月8日^木～15日^木

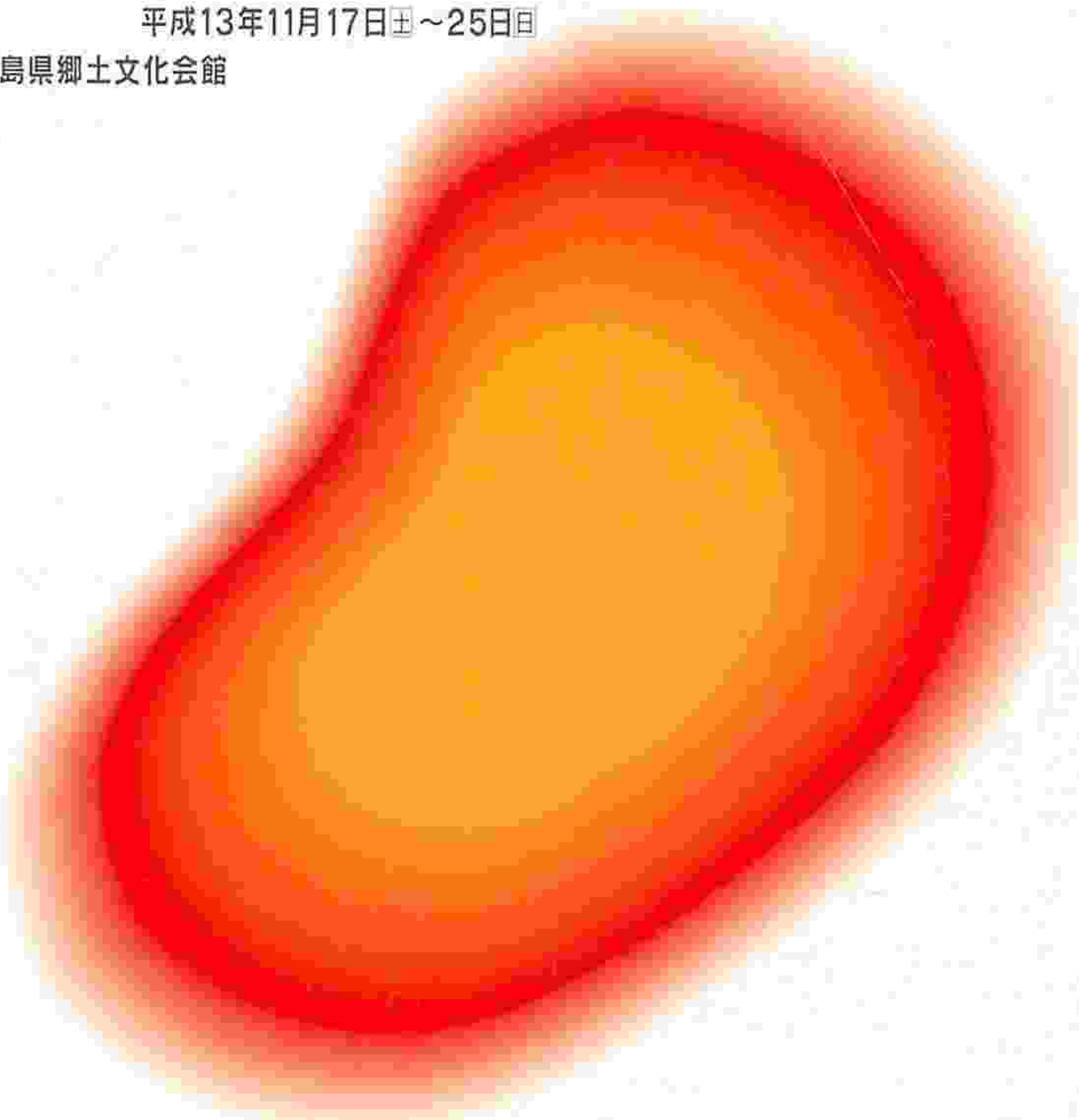
書道【前期】平成13年11月8日^木～11日^日

書道【後期】平成13年11月12日^月～15日^木

第2期／日本画・洋画・彫刻・美術工芸・デザイン

平成13年11月17日^土～25日^日

会 場／徳島県郷土文化会館



県 美 術 展

主催／徳島新聞社・徳島県美術家協会・徳島県民文化祭開催委員会

第56回

〈平成13年度〉

徳島県美術展

作品集

日本 画
洋写彫 美術 工 真刻芸道
美書 デ ザ イ ン

主 催

徳島県民文化祭開催委員会

徳島県美術家協会・徳島新聞社

後 援

N H K 徳島放送局・四国放送・徳島県文化協会

審査員

(敬称略)

①住所 ②所属団体・役職名 ③受賞歴など。



【日本画】山崎隆夫

①京都②日展評議員、京都市立芸術大教授③日展会員賞、日展特選など。



【書道】宮崎葵光

①奈良②日本書芸院常務理事、奈良教育大名誉教授③日展特選など。



【洋画】大津英敏

①神奈川②独立美術協会会員、多摩美術大教授③安井賞、宮本三郎記念賞など。



【書道】赤江華城

①大阪②臨池会副会長、読売書法会常任理事③日展特選など。



【写真】大石芳野

①東京②日本写真家協会会員③土門拳賞、芸術選奨新人賞、日本写真協会年度賞など。



【書道】金子卓義

①東京②創玄書道会常務理事、日展評議員③日展特選など。



【彫刻】石黒鏘二

①愛知②行動美術協会会員、名古屋造形芸術大学長③現代日本彫刻展・宇部市野外彫刻美術館賞、ヘンリー・ムーア大賞展・彫刻の森美術館賞など。



【デザイン】秋山孝

①東京②多摩美術大教授③ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞、ヘルシンキ国際ポスタービエンナーレ栄誉賞など。



【美術工芸】栗木達介

①京都②国際陶芸アカデミー会員、京都市立芸術大教授③朝日陶芸展大賞、日本陶磁協会賞など。

審査員総評



<写真>

審査員 大石 芳野
(写真家)

昨年に続く審査だが、一段とレベルが上がっているのを感じた。特に受賞作は狙いがしっかりしていて、構図や色調、プリントもきっちりと仕上がっている。全般にカラーの作品が多かったが、白黒ならもっと良かったのにと感じたものも多く、カラーか白黒かよく考えて撮ることが大事だと思う。

写真は社会に対する考え方によって出来が決まる。偶然いいものが撮れることもあるが、自分の考えを深めている人と、何となく撮っている人では大きな違いが出てくる。上位に入った人の作品には被写体への思いの深さを感じられた。

県議会議員賞の堀口幸男「村祭り」は、狙いを絞り込み、いいシャッターチャンスをとらえていて力強い。左の写真の少年は顔が見えないが、祭りの喜びや緊張感が足の指先にまで表れている。右の写真もそうだが、低い位置からのアングルが効果的で、地域の人々への尊敬の気持ちがよく出ている。

特選・久保英樹「星の夜」は、非常に難しい写真だが、カラーならではのいい写真。星の動きや残雪の様子など、この場所をよく知っているからこそ撮れたのだろう。技術的なことも含め、どう写るのか、仕上がりがまでよく考えて撮影されている。

特選・安部幸子「旅役者の子」は、自然光をうまくとらえ、光と影が非常に美しい。白塗りの少女のしぐさも自然で、緊張感と喜びが入り交じったような不思議な表情をよくとらえている。

特選・三木理司「誕生」は、家族ならではの親しさがよく表れている。特に一番右のほっとした母親の表情がいい。カラーだと医学写真のようになりかねず、白黒で撮ったことで非常に成功した写真だ。



<彫刻>

審査員 石黒 鎬二
(名古屋造形芸術大学長)

実験性の高い作品が多く、意外な発見があった。素材のバリエーション、高い技術力にもびっくりした。新しいものに挑戦しようとする真摯な姿勢がさすがらしく、将来性の確かさを感じた。

また、高校生の出品が目についたのもありがたい。技術的にはまだまだだが、制限がなければ、どれも入選させてあげたかった。今後もどんどん作り続けてほしい。審査は、具象・抽象、テーマの新旧にこだわらず、純粋に彫刻性の高いものを評価した。

県教育長賞の中川伸一「石器時代ーイヴ」は、重量感があって、装飾的な面白さにたけていた。石の素材をよく理解していて、文句なしに最高賞とした。あえて言えば出来すぎている。安定感を高く評価したが、それはそのまま落とし穴にもなるだろう。

準特選の上月佳代「グレーの思考」は、非常に空間構成の強い作品。具象はどうしても内にこもりがちだが、この作品は外に広がっている。いすに腰掛けた自然なポーズが意外と新鮮な語り口で、実験性もかなり高い。今年の拾い物だ。

同じく準特選の玉田悦子「哀しみのなかから」は、ベテランを感じさせる。基本がきちっとしているので、人体の姿勢がしっかりしている。これといった新しさはないが、全体に魅力を感じた。

写真



特選・県議会議長賞



村祭り 堀口 幸男

写真



招待 高千穂峡 井上 光雄

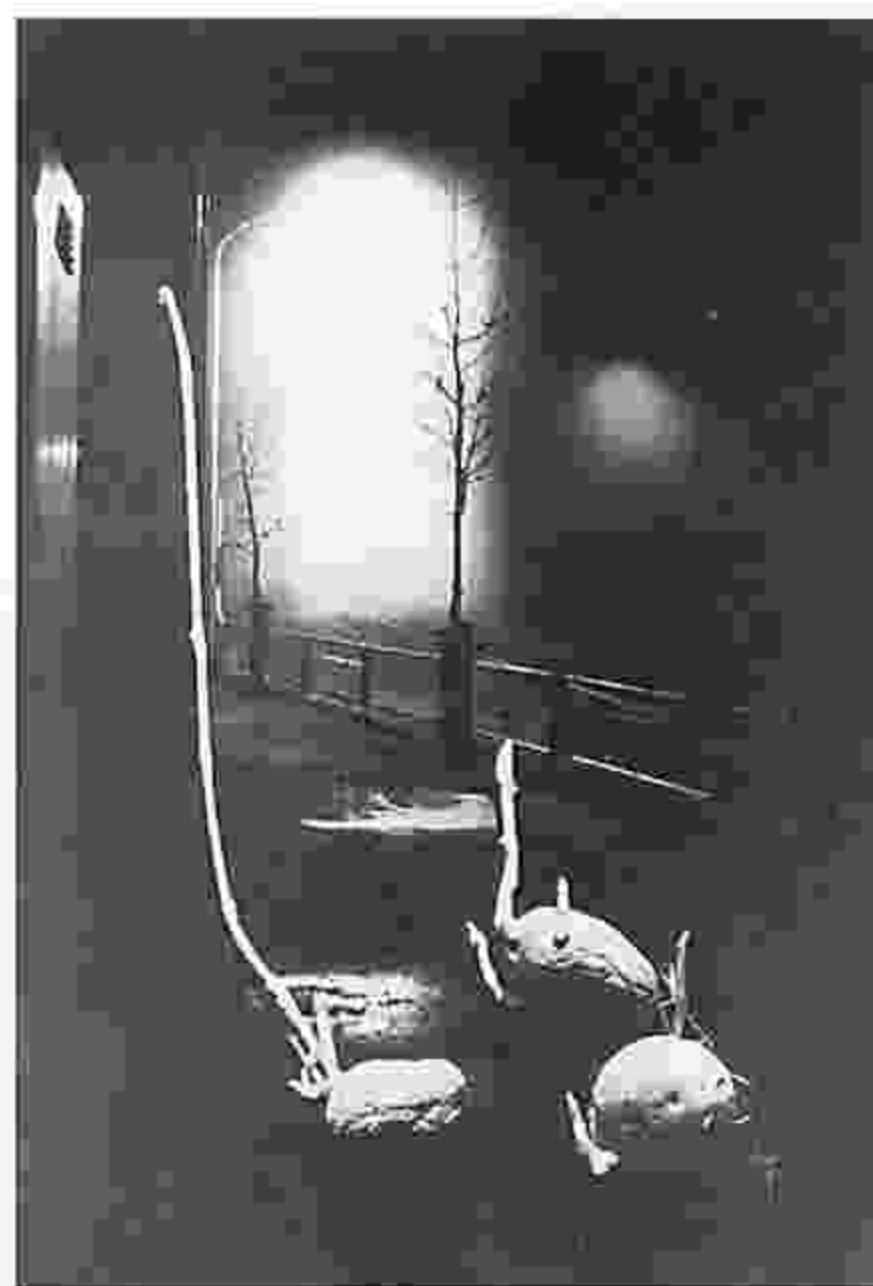


招待 秋深む 勝西 雅夫

招待

アンコールワット寸景

増田 清次



招待 生命力 西條 征二



招待 時々刻々 藤井 梵



招待 棚田（上勝にて） 武内 亨



招待 あじさい 笹田 敏雄



招待 稲荷 櫛淵 魏



招待 明星と空海（太龍にて）三好 和義



招待 街 酒井 博司



招待 沈黙の館 上野 照文



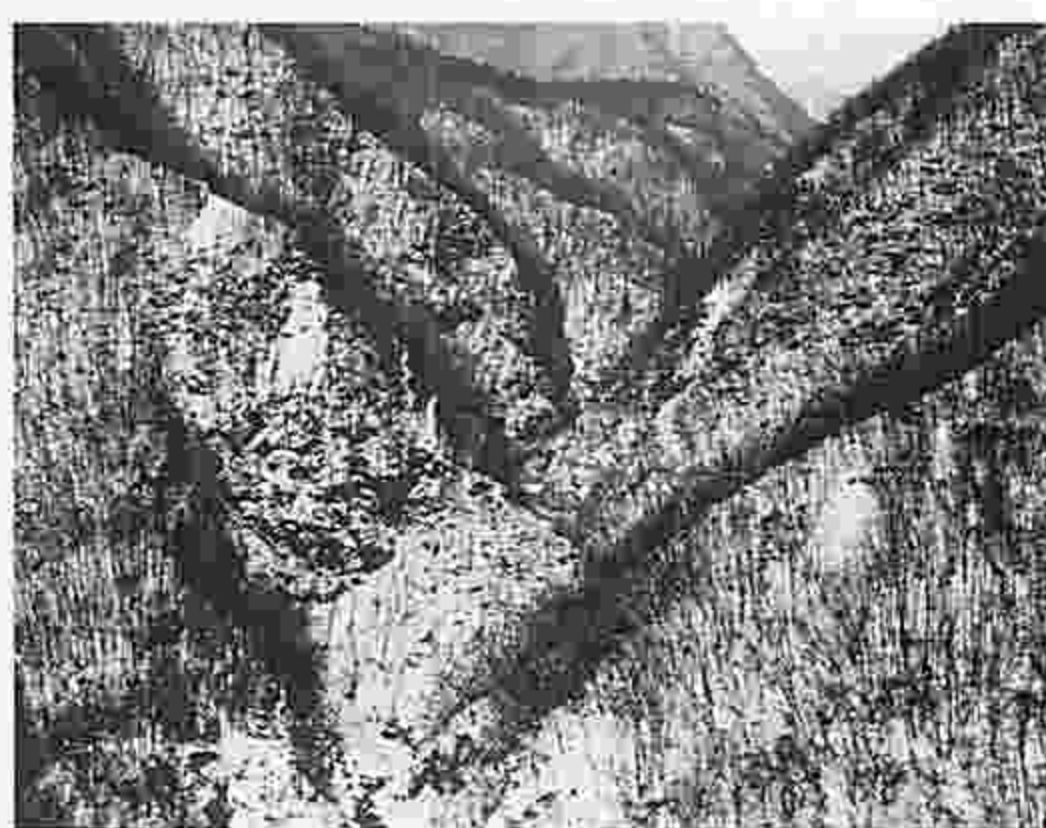
招待 爽やか 森 賢一



招待 爛漫 橋本 圭祐



招待 晩夏 安長 剛



招待 冬の奥槍戸 前浦 芳久



招待 祈りの河 荒井 賢治



招待 午後 林 敏彦



招待 港 多田 晴美



招待 室生寺春景 古井 謙吉



招待 秋日 中野 建吉



招待 里の春 井藤 光章



無鑑査 夏の日 増田 壽





特選 星の夜 久保 英樹



特選 旅役者の子 阿部 幸子



特選・新世紀賞 誕生 三木 理司



準特選

ワイングラスの花

川村 泰史



準特選 熱演 野藤 敏美



準特選 浮遊 柳本 正



準特選 夏の思い出 野藤みきよ

準特選
逃しちゃった
木下
昇



準特選 風 梅本 貞範

準特選

朝霧湧く(三嶺)

林

邦光



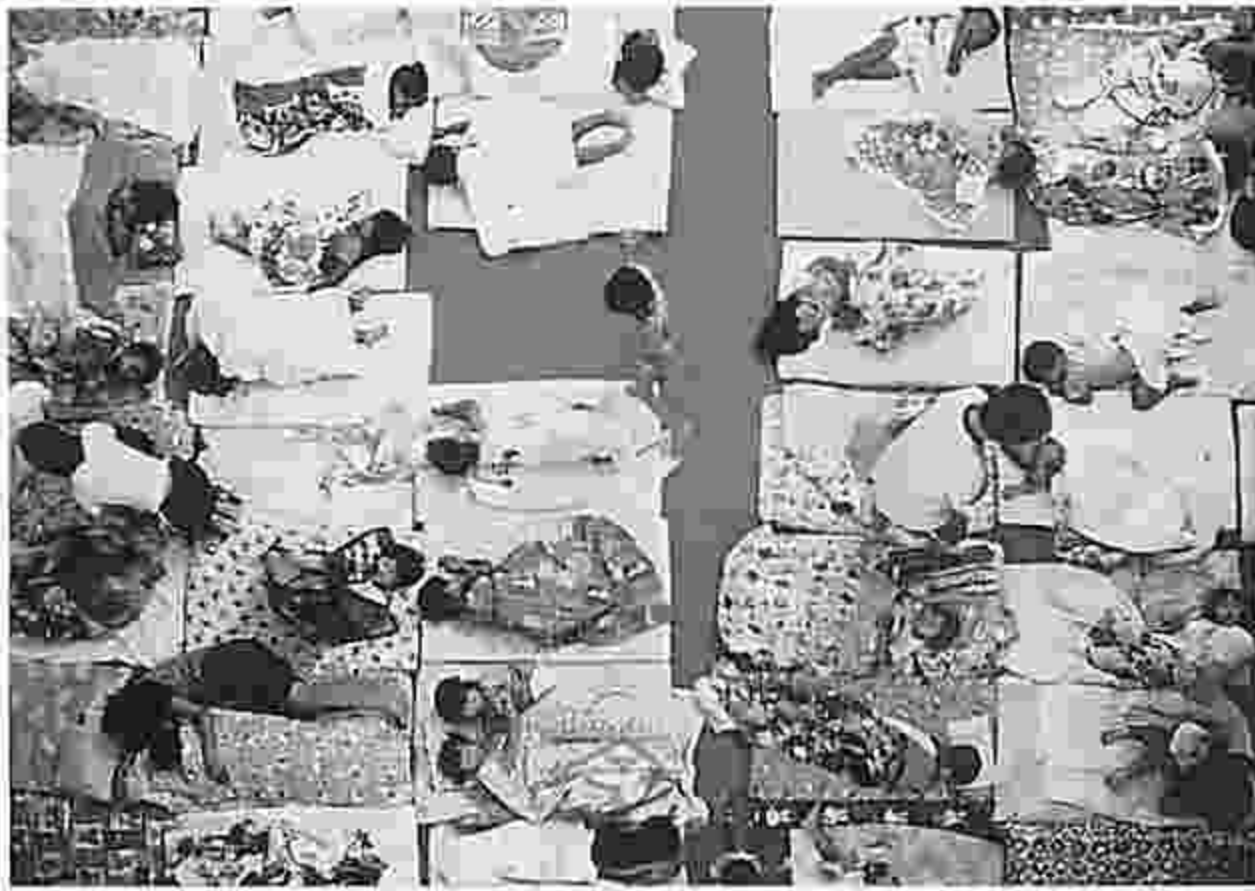
準特選 ちんどんまつり 大西 啓子



奨励賞 蛙 内田 忠秋



奨励賞 藍染め原料づくり 林 好一



奨励賞 お昼寝 森佳 博



奨励賞 祭りのシーン 岸田 義市



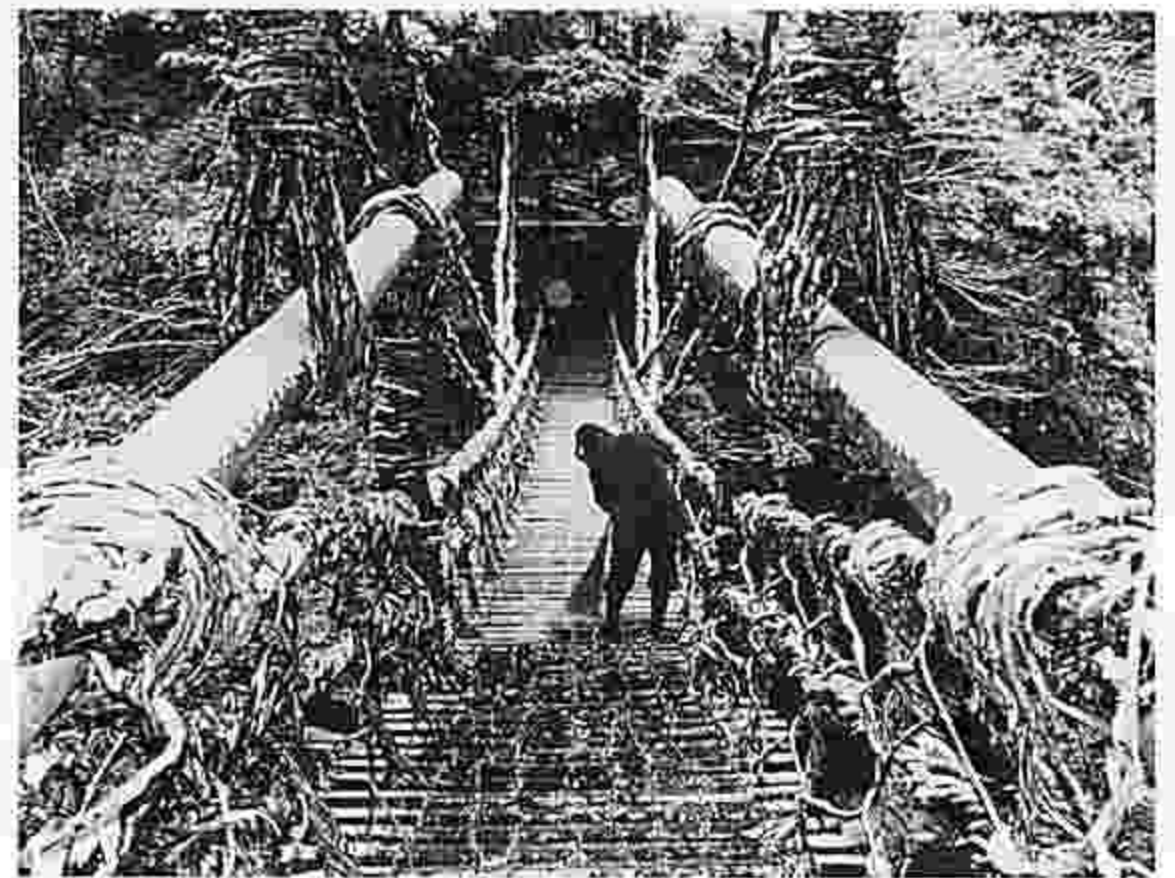
奨励賞 過ぎ去りし日々 多川 静守



奨励賞 ホバリング 塩本 勝義



奨励賞 秋野 辻 義徳



奨励賞 かずら橋の秋冬 渡部 功機

第56回県美術展出品・入選等状況

区分	部門	日本画	洋画	写真	彫刻	美術工芸	書道	デザイン	計
出品数		68	329	904	32	140	864	138	2,475
人数		59	227	253	29	108	603	116	1,395
入賞・入選	率	60.1%	37.7%	16.8%	62.5%	60.0%	40.0%	34.1%	32.9%
	特別賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	特選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	5	8	2	3	13	3	37
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入選	33	111	132	15	76	312	39	718
	計	41	124	152	20	84	346	47	814
落選	率	39.9%	62.3%	83.2%	37.5%	40.0%	60.0%	65.9%	67.1%
	落選	27	205	752	12	56	518	91	1,661
特別等	特別出品	1	2		1	1	3	1	9
	招待	7	6	21	6	9	40	3	92
	無鑑査			1	1		3		5
	賛助出品	3	10		1	2	1	1	18
	計	11	18	22	9	12	47	5	124
展示数		52	142	174	29	96	393	52	938

◎特別賞は特選の内数である。